

# 宿場町の記憶を刻む「旧酒蔵再生」の記録

左官工事が総元請として挑む、旧島崎酒造の屋根・外壁改修工事

(有)阿久津左官店

代表取締役 阿久津 一志

## 左官が「総元請」として背負う責任

栃木県大田原市佐久山。かつて奥州街道の宿場町として栄えたこの地に立つ築100年の「旧島崎酒造(屋号:日野屋)」の酒蔵再生において、阿久津左官店は「総元請」としてその全責任を担うこととなった。

長年の放置により、屋根瓦は崩れ、外壁の漆喰は広範囲にわたって剥落。一時は崩落の危険さえ指摘されていたこの歴史的遺構を、単なる「修理」ではなく、次世代へ繋ぐ「再生」へと導く。それは、左官という一専門工事業の枠を超え、建物全体の構造を見極め、瓦職人をはじめとする多職種を統括するマネジメント力が試される挑戦でもあった。2026年1月末、外装改修が完了を迎える今、職人集



▲旧島崎酒造の俯瞰図



▲倒壊の恐れがある為、事前にドローンで上空からの空撮及び測量調査を行い、過去に施工した寺社の漆喰工事、川越市文化財復元工事の経験をもとにお客様への具体的な提案からスタートした。